



ケアマネージャー様へ

お役立ち情報

令和5年2月号

無資格の介護職員に 認知症研修を義務化 2024年度から

今からおよそ1年2ヵ月後の2024年4月から、無資格で働く全国すべての介護職員に対して、認知症に関する研修の受講が義務付けられる。厚生労働省は今年夏、対象者の受講状況を調査する方針だ。



無資格の介護職員に義務付けられるのは、トータル6時間の「認知症介護基礎研修（eラーニング）」。

前回の2021年度の介護報酬改定の際に、厚労省は3年間の準備期間を置いて2024年度から完全適用する方針を決定した。

認知症ケアの“イロハ”を学んで理解を深めてもらい、サービスの質の底上げにつなげるのが狙い。新たに入ってくる無資格の職員については、採用後1年以内に研修を受ける決まりとした。

今後、厚労省は今年夏から現場の取り組みの進捗状況を調べる。義務化の影響や研修の効果も併せて把握し、サービスの質を更に高める施策の検討につなげる考えだ。

高年層75%、緩和に不安 マスク着用巡る政府方針

共同通信社の全国電話世論調査で、政府が屋内外を問わず個人の判断に委ねると決めた新型コロナウイルス対策のマスク着用ルール緩和について、高年層（60代以上）の計75・0%が「ある程度」を含めて「不安を感じる」と回答した。「あまり」を含む「不安を感じない」は計24・9%にとどまった。重症化リスクが高い高齢者が緩和に慎重であることが明らかになった。



年代が下がるにつれ、「不安を感じる」割合は減る傾向にあり、中年層（40～50代）は計65・2%、若年層（30代以下）は計48・3%だった。男女別では、男性の計54・7%に対し、女性が計74・3%で高かった。

新型コロナの感染症法上の位置付けを5月8日に「5類」に移行すると決めた政府方針に「賛成」と回答した人のうち、マスク着用ルール緩和に「不安を感じる」は計50・1%、「不安を感じない」は計49・9%で拮抗（きっこう）した。政府方針に「反対」の計90・4%は「不安を感じる」とした。

4月から本格稼働 業務効率化へ 「ケアプランデータ連携システム」

厚生労働省はこれまで、「ケアプランデータ連携システム」を構築する事業を国民健康保険中央会と進めてきましたが、それが今年4月からいよいよ本格稼働される予定です。

■セキュリティ面も安心

ケアプランデータ連携システムは、まさにその名称どおり、居宅介護支援事業所と他のサービス事業所や施設との間でケアプラン帳票をやりとりするシステムです。

これまでは例えば、毎月のサービス提供票の予定・実績のやりとりは、FAX、郵送、手渡しなどで行って来ました。今後はそれが大きく変わるはずで、ケアプランデータ連携システムを介すれば電子的に授受できるだけでなく、お互いが使用しているソフトにも情報が自動で入力されます。つまり、単に予定・実績のやりとりを簡単にできるだけでなく、入力の手間まで効率化されます。しかも、要配慮個人情報であるケアプランの情報が安全に取り扱われることも、このシステムを活用する大きなメリットです。

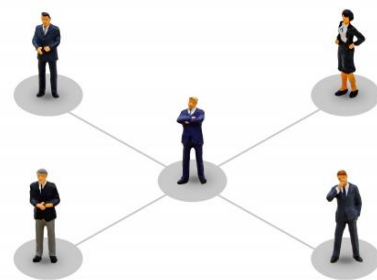
連携システムとしての技術的な配慮も備えています。例えば、パソコンを使っていると送付した情報が相手に届いているのか気になる時もありますよね。かといって受理したことを1件ずつ伝えるとなると、かなりの手間とストレスがかかります。このシステムでは、送付データを相手が受理したことを確認できる仕様になっています。

気になるのは利用料です。介護保険伝送請求（有効な電子証明書を有する事業所）を行っている事業所

の場合、1ライセンスあたり年額2万1,000円です。利用契約は1年ごと。費用の徴収方法は、
(1) 介護給付費からの差し引き
(2) 請求書送付による口座振り込み
の2種類がありますが、(1)が基本となります。

■ワークライフバランスの改善にも

もし、ケアプランデータ連携システムが導入されたら、現場の業務はどのように変わのでしょうか。現在の居宅介護支援事業所の給付管理業務は、事業所に複数のケアマネジャーがいる場合、全員足並みをそろえて期限までに実績入力を完了し、事業所としての請求を行っています。そこに要するケアマネジャー1人あたりの時間は、およそ5.9時間です。ケアマネジャーにとって給付管理業務を行うことは、時間の問題にとどまりません。月初は利用者宅の訪問よりも給付管理業務を優先する、私用で休みを取りづらいなどもあります。これらは、多くのケアマネジャーにとって当たり前のことかもしれませんが、潜在的なストレスであることは否めませんが、潜在的なストレスであることは否めませんが、また、1月はお正月明け、5月はゴールデンウィークが給付管理の時期と重複しています。ケアマネジャーである限り、この時期に心置きなく休みが取れる日は来ないといっても過言ではありませんでした。ケアプランデータ連携システムが本格稼働されれば、業務効率化と共にワークライフバランスも改善されるでしょう。



こ

訪 問
リハビリ
マッサージなら
お気軽にご相談を

訪問リハビリマッサージ

グリーン訪問マッサージ グリーン訪問マッサージ
〒273-0011 千葉県船橋市湊町 2-8-11-403

070-8945-2235

FAX : 047-413-0446

代表 : 福島 正人

MAIL : fukushima4444@gmail.com